

山陰地質情報展「地質が明かすくにびきの里」の見どころ

本年の情報展は、山陰地方の地質に関連した当所の業務成果および関係機関の成果等のポスター展示や実習・実演を中心にした、たくさんの項目に関して行います。

ここに展示予定のいくつかを「見どころ」として掲載します。皆さんのご来場をお待ちしています。どうぞ楽しみに！

また、地質調査所ホームページの情報もご利用ください。
<http://www.gsj.go.jp/HomePageJP.html>

開催場所：島根県松江市松江テルサ(入場無料)
開催日時：平成12年9月29日(金)から10月1日(日)
9時30分から5時(最終日は4時まで)

山陰の地質関連

「島根半島、宍道湖、中海を中心とした山陰の地質」
コンピュータグラフィックスによる島根半島、宍道湖、中海の地形と地質(写真1)。

「隠岐の地質」
600万年前の火山島「隠岐島前」、日本海誕生以降を記録する「島後」の地質(写真2)。

「山陰の鉱物資源」
世界的に知られた石見銀山をはじめ豊かな鉱物資源に恵まれた山陰(写真3)。

「たたら製鉄のお話し」
奥出雲でさかんだったたたら製鉄の主な原料は砂鉄。なぜ奥出雲なのか。

「三瓶火山と埋没林」
縄文時代に大噴火した中国地方で最も新しい三瓶火山と小豆原埋没林(写真4)。

「宍道湖・中海の生い立ちと環境」
宍道湖・中海の形成過程、最新技術による環境評価、シジミを脅かす貧酸素水塊(写真5)。

「古代の玉作り」
碧玉産出地花仙山の麓、古代玉作り遺跡の勾玉や管玉(写真6)。

「石の鼓動」
来待ストーン採石場遺跡—どこからとなく聞こえてくるか矢を打ち込むゲンノウの音(写真7)。

「中国地方の地球化学図」
中国地方の河川から採取した堆積物試料約500試料に含まれる元素の分布。

「山陰沖の海底地質」
山陰沖の海底の過去と現在。斜面崩壊、海底付近の流れ、昔の日本海の様子。

「大地の恵み-地熱資源を求めて」
地熱資源を求めて、地下の熱水の капсуル「流体包有物」、山陰地方の温泉の特徴。

チャレンジコーナー
「化石レプリカを作ろう」
本物そっくりのレプリカの作製体験。あなただけの“化石コレクション”(写真8)。

「顕微鏡で見る岩石と微化石の世界」
薄くした石が作り出す不思議な世界。大型化石、目では見えない小さな化石など(写真9)。

「地学クイズ」
パソコンによる地学クイズと日本各地の地質図、露頭や標本の写真。

「さわって覚える石の生い立ちのコーナー」
見て、持って、実感してみよう。

実験コーナー
「鳴き砂-自然がくれた美しい音色-」
「キュッ!キュッ!」ワイングラスの中の音。普通の砂を鳴かせる方法(写真10)。

「地層のでき方をみましょう」
海底土石流、液状化等の現象を見せます。

地球科学一般
「隕石はどこから来たの」
セマルコナ隕石の電子顕微鏡写真。それぞれの球粒は45.6億年前の原始太陽系星雲(写真11)。

「地質図の読み方」
地質図を見てなにがわかるの?どこをどう掘れば温泉がでるの?

「地質図展」
地質図は変化する。3枚の100万分の1日本地質図に見る地質調査と地質学の発展。

「古代の海の生き物たち」
母なる海の生命の進化、単純なつくりからより複雑高度化した生き物たちの化石。

「地震波で地球の中を見る」
地震波で明らかになった地球内部。活断層も見える。

「アジアの地質」
東-東南アジアの地球科学図いろいろ。

実演コーナー
伝承館の「伝統工芸」出雲特産めうの細工(写真12)。
伝統工芸士による「来待石」で作る出雲石灯ろう(写真13)。

32ページもご覧ください。



写真1

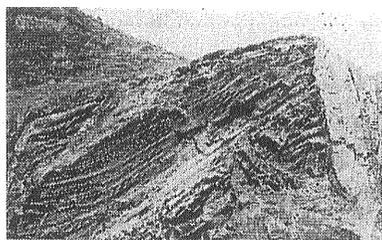


写真2



写真3



写真4

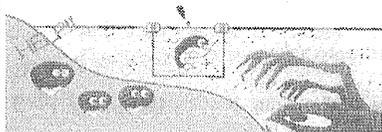


写真5



写真6

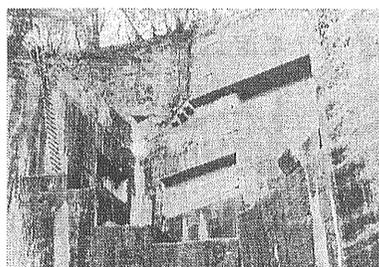


写真7

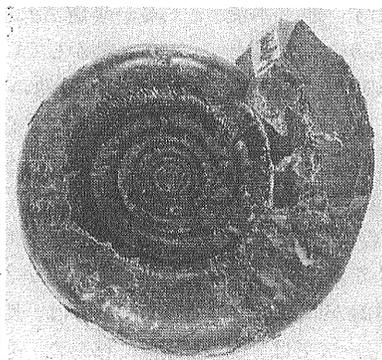


写真8



写真9

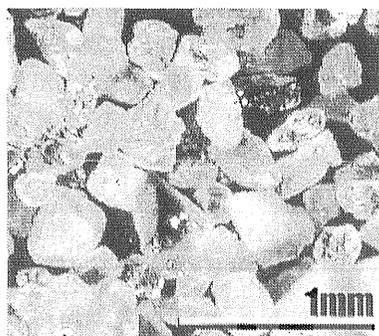


写真10

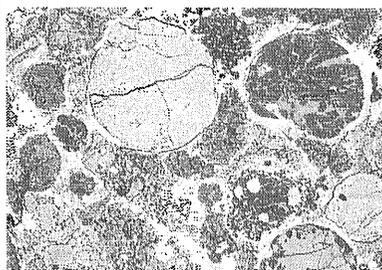


写真11



写真13

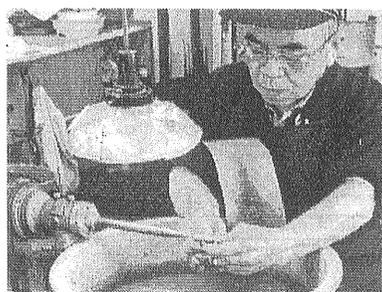


写真12